

タイトル	著者名	内容紹介
<b>汚れた手を そこで拭かない</b>	芦沢 央	認知症の妻を傷つけない夫。始まりは、ささやかな秘密。見逃したはずの小さな綻びは、自身を絡め取り、蝕んでいく。取り扱い注意!研ぎ澄まされたミステリ5篇。
<b>心淋し川</b>	西條 奈加	飯屋を営む与吾蔵は、小さな女の子の唄を耳にする。それは、かつて手酷く捨てた女が口にしていた珍しい唄だった。もしや己の子ではと声をかけるが一全六編。生きる喜びと哀しみが織りなす、渾身の時代小説。
<b>インビジブル</b>	坂上 泉	政治家秘書が刺殺体となって見つかる。新城は初めての殺人事件捜査に意気込むが、エリートなのに聞き込みもできない官僚の守屋と組むはめに。はぐれ者バディVS猟奇殺人犯、戦後大阪の「闇」を圧倒的リアリティで描き切る傑作長篇。
<b>八月の銀の雪</b>	伊与原 新	不愛想で手際が悪い。コンビニのベトナム人店員グエンが、就活連敗中の大学生、堀川に見せた驚きの真の姿。(八月の銀の雪) 科学の揺るぎない真実が、人知れず傷ついた心に希望の灯りをともす全5篇。
<b>オルタネート</b>	加藤シゲアキ	高校生限定のマッチングアプリ「オルタネート」が必須となった現代。東京のとある高校を舞台に、若者たちの運命が、鮮やかに加速していく。デジタルな世界と未分化な感情が織りなす物語の果てに待ち受ける未来とは一
<b>アンダードッグス</b>	長浦 京	元官僚の古葉は、イタリア人大富豪に世界を揺るがす計画を託される。それは、国籍もバラバラな“負け犬”仲間たちとチームを組み、香港の銀行地下に隠された国家機密を奪取するというものだった。負け犬たちの逆襲が始まる。
<b>野良犬の値段</b>	百田 尚樹	謎の誘拐サイトで公開されたのは、6人のみずぼらしい男たちだった。事件?イタズラ?半信半疑の警察を尻目に、誘拐サイトは驚くべき相手に身代金を要求する。日本全体を巻き込む、かつてない「劇場型犯罪」が幕を開ける!
<b>境界線</b>	中山 七里	「誰にでも境界線がある。越えるか、踏みとどまるか」復興の闇と人々の祈りを描く骨太のヒューマンミステリー。『護られなかった者たちへ』につらなる「宮城県警シリーズ」待望の続編。
<b>今度生まれたら</b>	内館 牧子	70歳になった夏江は、何の不满もない老後だといえる。だが、振り返ると、節目々々で下してきた選択は本当にこれでよかったのか。あの時、確かに別の道もあった。やり直しのきかない年齢になって、夏江はそれでもやりたいことを始めようとする。
<b>おしいたんていの こい!?</b>	トル	今回は…「おしいたんていのこい!?!」「もも色のきょうはくじょう」の2つのお話です。おしいたんていさんといつしよにじけんのなぞをとときあかしましょう。